

<今朝の聖書から>

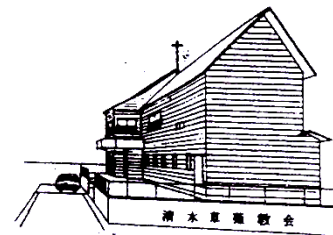
BC586年 ユダ王国の滅亡。バビロン捕囚
BC550年～530年 ペルシヤ王クロスの治世
BC539年 バビロン陥落
BC538年 クロス王の第一年
BC536年 エルサレム帰還と神殿再建工事の開始
BC530年～522年 カンビュセス王の治世
BC522年～486年 ダリヨス一世の治世
BC520年～515年 神殿再建工事の再開と完成
BC486年～465年 クセルクセス一世(アハシュエロス)の治世
BC479年 エステル、王妃となる
BC475年 ユダヤ人虐殺計画
BC465年～424年 アルタクセルクセス一世(アルタシャスタ)の治世
BC458年 エズラ帰還
BC445年 ネヘミヤ帰還、城壁完成
BC433年 ネヘミヤ再度帰還 (新聖書講解シリーズより)

●教会学校、ユース礼拝では1月、2月はダニエル書、エステル記、ネヘミヤ記を学んでいます。エズラ記、ネヘミヤ記、エステル記の時代背景はよく似ています。いろいろな場面を想像しながら、共に聖書を開き学ぶことはとても楽しいことです。●今年の元旦礼拝では村上牧師により、ハガイ書とネヘミヤ記が開かれました。「神のみことばを思い出して、さあ再建だ」と希望を抱いて歩もうとのメッセージをいただきました。2か月が過ぎようとしています。今朝は、もう一度ネヘミヤ記を開きたいと思います。神殿が再建され、城壁の修復も終わりました。神の助けと守りのうちに目に見える形は整えられましたが、神の民としての信仰共同体の形成がなされていませんでした。そこで、学者エズラとレビ人によって、律法(みことば)の朗読と、その意味が明らかにされました。それを聞いて民は泣いていたとあります(ネヘミヤ8:9)。それは、ユダヤ民族と自分自身の罪が明らかにされて悔い改めへと導かれたのです。そして、「今日は、我らの主にささげられた聖なる日だ。悲しんではならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。8:10」と呼びかけられました。主を喜ぶとは、力の源とは、どのようなことでしょうか。私たちは本来幸福なものとなるように、造られているのです。信仰を告白した時のことを思い出してみましよう。この世的な喜びを追い求めていた時、真理の光に照らされて、自分の罪深さを知って悲しみ涙しました。そして、私たちは、すべての罪を負いたもう主イエス・キリストの十字架の姿を見る事ができました。そして、疲れ切った魂に、少しずつ新しい勇気が加えられてきました。●詩篇 138:3に「呼び求める私に答え、あなたは魂に力を与え、解き放ってくださいました」とあります。その力は罪と戦う力。神と兄弟姉妹に仕える力。時間と富を捧げる力。イエスの御名を告白する力。人生の苦難を受け、それに耐える力であります。と同時に豊かなあふれる喜びも、味わうことができました。この喜びは、すぐに消え去るような喜びではなく、どんな試練の中にあっても決して忘れることのない喜びです。それゆえに私たちは神を喜ぶのです。「主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい」(フィリピ4:4)。

文責:大石操兄

週報

2011年 2月 27日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル公会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

振替口座 00890-6-214042